

## 小規模企業景気動向調査(7月期)における商工会経営指導員の主なコメント

\*コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

### 1. 景気全般

#### <改善傾向を示すコメント>

新型コロナウイルス感染症は感染者が高止まりとなっているが、行動制限がないことで夏休み・お盆期間を迎えるこれからの時期は売上増加が期待される。

(よこて市商工会)

業種にもよるが、多くの業種が今の時期は売上が増えていると思われる。竹富町の多くの事業所が観光業のため、夏が終わった時期かどうかといった状況になっていくのか事業者さんからは不安な声もきこえたりするが、まずは今の夏の時期に多くの売上が見込めるためそれにしっかり対応していくとの声もある。

(竹富町商工会)

旅行関連業や飲食業の回復等が中心となり、地域経済が活性化している。その一方で、新型コロナ第7波の影響を考慮した消費マインドも広がりつつあり、引き続き多くの業種で不安定な状況が続いている。

(玖珠町商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

全体的に燃料費の増加、商品価格の値上がりが影響し始めているようです。コロナ融資の据置期間がすぎ、返済が始まることで、更に企業体力が失われていく企業が増えていくように思われます。

(新ひだか町商工会)

仕入れ値や電気代などは全体を通して上昇傾向にあり、今後への不安を感じた。また建設関係では機材、資材が入ってくるのに時間がかかる、またはそもそも入ってこないなどの話もあり、仕事があっても思うように進まず対応に苦慮している様子が見られた。

(五戸町商工会)

新型コロナウイルスに関して未だ感染収束には至っていない中、本県の感染者数は新たな変異株の出現により、直近の感染者数は大幅に増加してきているため、再び拡大傾向となっている。今後も、さらに新たな変異株の出現の可能性もあるため、感染収束の見通しが見えない状況が続いており、不安材料となっている。このような状況下において、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が収束に至っておらず、原油を含めたエネルギー価格や原材料価格等の高騰も続いていることから、商品への価格転嫁による値上げなどもあり、影響を受けている業種において、コスト高による収益圧迫など、厳しい経営環境が続いている状況となってい

(みやぎ仙台商工会)

あらゆる物価上昇により、様々な産業において経営に支障をきたしている。現在は、生活必需品を中心に消費が回っているが、それ以外のものには全体的に消極的である。国民の所得が上がらない状況の中、あらゆる物価だけが急激な上昇傾向にある為、全体的な消費が停滞していると推測される。

(会津美里町商工会)

物価が値上がりしているにもかかわらず一般市民の賃金は上がっていないため、当然として消費は縮小し商品やサービスを提供する事業者の業績も悪化する。価格ではない新たな付加価値を持つ商品やサービスを各中小企業者は模索して見出すことが必要だ。

(北茨城市商工会)

7月前半はそこそこの順調な売上であったが、海の日3連休を境に急激な新型コロナウイルス第7派の感染拡大が生じ、それ以降は売上が激減している事業者が多い。コロナ関連融資の返済開始期を迎えたが、依然として売上低迷が続いているため、リスケや借換をして何とか対応している事業者も見られる。

(山ノ内町商工会)

積極的に投資を行い、新規事業を行うことで、現状を打破しようとする事業所と新規事業を行える余力がなく、現状維持で対応しようとする事業所の二極化が進んでいるように感じる。

(東近江市商工会)

全般的に、業況が大きく改善傾向にあるが、資金繰り・採算悪化がみられる。全業種で売上改善となった。しかし、原油及び原材料高騰に加えて、ロシアによるウクライナ侵攻、急激な円安等の影響が長期化の様相。コスト増大による採算の悪化が小規模企業を苦しめている。特に、製造業や建設業でのコスト増の影響が大きく、採算や資金繰りの悪化が見られる。コロナ第7波により、県からの会食制限が発令され飲食店のキャンセルが多発、大きな影響を受けている。

(雲南市商工会)

コロナ第7波で感染拡大が続くものの、行動制限等はなく地域のイベントも開催されている。それでも感染を警戒して飲食店への客の戻りは鈍い状況である。自治体独自の補償を行っているが限定的であり、今までのような国・県からの大型補償がない中、苦境に立たされている店舗も少なくない。全体的に活気を取り戻しつつあるように見えるが、内実はまだまだのところが多いように感じている。

(四万十町商工会)

第7波で再び自粛・行動規制ムードが漂っている一方で、コロナ前の景気回復は見込めないとして、各業種企業努力を進めている印象もある。飲食、宿泊業の声として、これ以上医療負担等が続いた場合、やむなく行動規制が発動されても仕方がないが、時短要請協力金、再発見の旅等の支援を要望するというものが多

(長洲町商工会)

## 2. 製造業

### <改善傾向を示すコメント>

製造業においてはコロナ禍の第7波の影響はそれほど甚大ではなく、ここ数カ月との変化は小さい。原材料や燃料の高騰も最盛期から一端の落ち着きを取り戻しつつあり、食品メーカーなどは価格や容量に転嫁することで値上がりの対策を打っている。

(中央市商工会)

鉄鋼原材料価格が高騰しているが、価格転嫁はできている。

(中芸地区商工会)

昔から続くニット製品製造業は、大手量販店の影響を大きく受け、近年ずっと低迷しているが、細かい顧客ニーズに応えるため、新たな編み機を導入するため、補助金活用に取り組むなど前向きな改善がみられる。

(小須戸商工会)

### <悪化傾向を示すコメント>

物価高騰に加え、7月後半からは感染者数の拡大により厳しい状況である。

(玉造商工会)

食料品…仕入単価は前年同月に比べて1.2倍に値上がり。今後も値上げが予定されており、この4月に行った商品の価格改定では補いきれずに苦労している。飲食店関係の売上が芳しくなく、だいぶ客足が遠のいている様子。繊維工業…昨年とは商流が変わり、百貨店向けからEC販売が主流となった。販売管理する親会社の積極的な情報発信によって売上は前年以上。設備投資や工場増築などを検討。海外実習生受入れも6月から再開。機械・金属…半導体関連業界が上向きのため受注状況は良好。新たな設備導入は検討しておらず既存の生産力で対応。労働力に限界があることから受注制限することも出てきている。原油価格の高騰

(由利本荘市商工会)

継続的なロシアによるウクライナ侵攻に伴い、原材料の価格高騰は継続しており、円安も相まって利益が減少している状況にある。原材料の仕入単価が上昇している為、販管費の経費節減だけでは追いつかず、価格転嫁を迫られている。取引数に関しても価格転嫁の影響もあり、減少傾向にある。

(会津美里町商工会)

半導体関連の部材がまだまだ厳しい状況である。納期に遅れが若干でている。

(調布市商工会)

繊維関連の事業者は、好調な通販系アパレルと、低調な店舗系アパレルで業績が分かれています。また、円安以外の要因で、海外への仕事の注文が滞っているため、国内への回帰がみられているようです。ただ、単価が安く仕事にならないものも多しとのことでした。工作機械関連の事業者からは、受注が少し改善してきたという話もできました。ただ、賃加工などをメインとしており、商品に付加価値をつけることができない事業者は依然として厳しい状況が続いています。人件費については、特に最低賃金が過去最高の上昇額というニュースが今後の事業運営を不安にさせる一要因になっています。

(宝達志水町商工会)

昨年との大きな違いは、規制の無いハイシーズンを迎える準備月のイメージであり月前半には若干の感染者増加傾向からの注文や問合せは多く、売上・採算共に改善傾向であったが中盤を過ぎると一変して次回発注の延期や数量の見直し等が多く聞かれた。原材料高騰や不足等の理由により仕入は若干の無理をして増やしていた所での行動制限がない陽性者数急増は今後の計画立てが難しい状況。営業する為に多少高く無理して仕入をしても売れない状況は続くが、固定費の支払いはやってくる感じでお手上げ状態である。

(北杜市商工会)

良科品関連の事業者は、WITHコロナの意識が高まり、仕入れの注文がかなり戻ってきている。一方、原材料が高騰し、経営を圧迫している。顧客が戻ってきた事業所と戻ってきていない事業所で業況が分かれている。繊維工業関連の事業者は、取引先の国内回帰の動きから、受注が増加。しかし、人員不足から設備操業度が低下しており、売上につながっていない。電気代の使用単価が大幅増。通常比で、120-130%の使用料金。糸や箱など資材も高騰しており、収益性を圧迫している。自動車部品製造関連の事業者は、ロックダウンや生産調整により受注に波がある。受注量の減少が続いており、従業員の時短勤務等で対応している。

(米子日吉津商工会)

食料品関連の事業者は、材料・包材ともに価格が高騰している。春に値上げを実施したが、全てに価格転嫁できず、吸収し切れていない。繊維工業の事業者は、材料支給のため、仕入価格の高騰の影響は最小限。業界全体として、材料の高騰により売上単価が上昇している。諸経費が全体的に値上がりしており、この状況が続けば加工賃の値上げ交渉を検討していかなければならない。機械・金属関連の事業者は、材料支給のため原価高騰の影響はなし。8月から若干増産見込みであるが、7月は前年並み。

(北栄町商工会)

### 3. 建設業

#### <改善傾向を示すコメント>

コロナ禍でも住宅の新築やリフォームのニーズはそれほど変わっておらず、比較的安定した受注を確保して  
(福井北商工会)

土木業に関しては、売上が変わらない中で仕入単価が上昇しているため、利益がやや減少してはいるが、公共工事が多いため、経営状況はそれほど変動していない。

(山ノ内町商工会)

民間工事が好調に推移しているため、売上額は増加傾向である。原材料の高騰については、工事単価に付加しているため、採算性は大きく悪化していない。また、住宅建築の単価が上がっているため、リフォームなどの需要が多く、需要に対応しきれっていない。

(あまみ商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

建設資材、建築資材、燃料費の上昇が止まらず経費増となっている。特に建築資材の上昇が住宅建築費増に繋がっており見積もり作成時と実際の建築時の価格差が広がっており受発注の停滞の恐れを懸念してい

(小平町商工会)

原材料価格高騰により建築費用の増加に伴い、施主が銀行へ追加融資を申し込んでも断られたことで工事予定が中止となる事例が発生している。

(中泊町商工会)

原材料が週毎に高騰しており、去年の同時期と比較すると建築資材は倍以上に値上がりしている。

(北塩原村商工会)

ロシアのウクライナ侵攻に伴い、仕入単価に関しても依然として価格高騰が継続している状況にある。建設資材の入荷遅れも継続して発生しており、品薄状態が続いている。また、建設資材の入荷遅れにより現場が止まってしまうことが度々あり、入荷後から工期までの施工期間も短く、労働が集中してしまう時期がある。建築需要はあるものの、職人の人手不足が課題として挙げられる。

(会津美里町商工会)

新型コロナウイルスの影響により海外部品を含む資材等の入荷に支障が生じている。資材の価格高騰が激しく、それを価格に反映せざるを得ない。結果、従来であれば受注に至る案件がキャンセル又は延期になることが多くなった。しばらく資材の価格高騰は収まらないと考えられ、この状況の長期化はゼロゼロ融資等の返済が始まりつつある中で、かなり厳しい状況と言える。

(寺泊町商工会)

建設業では、資材が入らない状態が続き、工事が着工できていない事業所が多い。よって、売上や利益を上げられず、違う事業や業態転換を考えている事業所が出始めている。

(東近江市商工会)

公共工事が少ない時期でもあり売上は減少している。人手不足のため工事を受注できない事業所もあり。ハローワークに求人を出しているが応募がなく、慢性的な人手不足が続いている。建築資材(インターホン等)の納期遅れも続いている。

(北栄町商工会)

サッシ工事店では、原材料の高騰が著しくトタンの価格は2倍になるなど大幅な利益圧迫となっている。さらに9月にまた値上がりすることが決定しているため、今後の資金繰りも含めて社内での検討が必要となって

(神崎市商工会)

受注状況は悪くないが、原料の仕入価格が高騰しているのと、電気ブレーカー、給湯器、トイレなどの納品に時間がかかり、リフォーム工事や新築工事の納期が遅れてしまうことが収益悪化の原因となっているようで

(宇城市商工会)

建設業は材料費の値上げについては適正に価格転嫁できており、利益率の変動は少ない。しかし、水回り製品の納入遅れなどで工期が伸びており、資金繰りは悪化傾向。

(日田地区商工会 大山支所)

公共工事の再開で、事業が再稼働している事業者もあり、業界は横ばいのように思える。しかし、引き続き「人材不足」という課題に直面している。外国労働者を雇用している事業者でも、外国人が来島する前に、コロナ感染による来島の延期や中止等も相次ぎ、重要な人材が確保できず、工期の延長や中止せざる負えない状況が続いてるとのこと。

(中城村商工会)

#### 4. 小売業

##### <改善傾向を示すコメント>

今年の夏は特に暑く、エアコンの売れ行きがいい。修理の問い合わせも多い。

(大泉町商工会)

食品小売関連の事業者は、人流の回復や地域イベントの復活等で売上は増加した。土産物販売関連の事業者も、観光客が戻っていることから売上は回復傾向。食品関係以外の小売業者(家電販売等)は、品不足による販売機会の遺失が目立った。

(真庭商工会)

##### <悪化傾向を示すコメント>

食料品小売業関連の事業者は商品価格の値上がり相次ぎ、買い控えの傾向が見られる。耐久消費財の関連事業者はエアコンなど季節商品を含め、商品の供給が間に合っていない状況が続いている。

(新ひだか町商工会)

衣料小売…市のキャッシュレス決済還元事業により、新規客が増加。2年ぶりに夏祭り行事が開催され、浴衣や小物の需要が前年よりも多く、売上増加。仕入単価は現在のところ値上がりしていないが、今後上昇する見込み。食料品…7月からの食料品値上がりにより、仕入価格上昇。新型コロナウイルス前と比較するとほど遠いが、地域の会合等僅かながら開催しており、酒の販売量が増えてきているため、売上増加に繋がっている。耐久消費財…除雪機の仕入価格7~15%値上がり。市のキャッシュレス決済還元事業により、ペイペイ利用はかなり増えたが、バイク売上などの大きい額の入金が遅くなり、資金繰りは以前より厳しくなっている。

(由利本荘市商工会)

衣料品関連の事業者は、市内のコロナ感染者増加で外出機会が減少し、来店される方がかなり減った。食料品関連の事業者は、昨年同月比では業務用米の販売が増加したが、底値で採算性は悪い。肥料価格は中国による輸出制限が続く更に数十%の値上がりが決定しているか、メーカーによっては値上がり額を決められないでいる状況。耐久消費財関連の事業者は、仕入値の増加による販売価格の上昇があるため、多少なりとも顧客の減少に影響していると考えている。

(かづの商工会)

新型コロナウイルスの感染者数の増加に加え、連日の猛暑の影響もあってか出歩く人が少なく、客数が伸び悩んでいるとの声が多く聞かれた。原材料等の値上げが続いており、値上げに踏み切りたいが、なかなか踏み切れていない状況が続いている。

(栄町商工会)

ようやくコロナが落ち着いたと思っていた頃にコロナの第7波がやってきたと同時に値上げラッシュが再度始まり、仕入価格が高騰している。近隣のスーパーでも十分値段の上昇を感じるが、個人商店ではその実感ももっと大きい。普段から商店街で買い物をする高齢者は購入量を減らすなど、工夫しているため、お店の売

(小須戸商工会)

衣料品小売業では、6月に市町村独自の商品券配布と利用により、コロナ前の売上水準に戻りつつあったが、7月の新型コロナウイルス再拡大により、商品販売の動きが弱まっている。食料品小売業では、小麦関連、即席めん等の値上がりが激しく仕入価格が2割程度増加している。8月以降は更なる値上げが予定されており、収益への影響が懸念される。卸先は値上げには寛容。病院がコロナ対策で外来患者受け入れを制限している為、病院売店売上は3分の1に落ち込んでいる。自動車販売業においては、半導体・部品不足の影響が続いており、納車までの期間が長期化(車種によっては半年以上)し、安定的な売上・収益の確保が困

(米子日吉津商工会)

衣料品関連の小売業は、先月に引き続き、顧客の来店も少なく低い位置での横ばい状態となった。今後のコロナ感染再拡大の到来も予測でき、先行き不安である。食料品関連の小売業は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、夏の仕出し需要が減少した。一方小売部門は安定受注あり。耐久消費財(自動車)関連の小売業は、6月は田植えシーズンで来店も少なく、受注が減少していたが7月は戻った。新車の納期が6ヶ月程度かかるため中古車市場が活況で値上げ傾向にある状況である。

(みまさか商工会 勝央支所)

日用品や食料品を扱う地域の小規模な事業者は、コロナウイルスの影響により来店客数減少・売上減少を招いている。地域の大きい小売店は、コロナウイルスの影響により地域の方が多く来店されるようになり売上は増加傾向にあったが、仕入れ値高騰による収益性の悪化が見受けられる。燃料小売は、消費者の外出自粛により燃料購入者が減少している。自動車販売業は、消費者の購買意欲が低下していることや照会が来た際に要望されている物を仕入れることができない状態で納品までに最短でも半年待ちの車両もありお客様への提案が難しいこともあり売上確保が厳しい状況となっている。

(佐賀市南商工会)

小規模な個人商店は、町の人口減少が原因のため売上が減少している。また原材料等が上昇しているが、周囲の大型スーパーの影響で商品への転嫁が難しい状況である。

(甲佐町商工会)

## 5. サービス業

### <改善傾向を示すコメント>

理美容業は、日常生活において必須の業種であることもあり売上はあまり変化がないと思われる。逆にエステや脱毛などのサービスを付加していけばコロナ禍であっても売上を伸ばせる余地はあると思われる。

(北茨城市商工会)

旅館業では売上は回復傾向の模様、第7波のコロナ再拡大で若干動きが鈍くなりそうであるものの県外からも集客できている。今後の新幹線開通による需要喚起に期待したい。

(嬉野市商工会)

### <悪化傾向を示すコメント>

旅館。宿泊業関連の事業者はどうみん割など国や道の施策によって、売上の回復傾向がみられる。又、原油高騰による燃料費の支出増加又食材の値上がりにより、全体的に悪化傾向がみられる。洗濯業関連の事業者は原油高騰による燃料費の増加が続いており、全体的に悪化傾向にある。理美容業の関連事業者は新型コロナウイルス感染症の感染者が増加していることにより、来店客が減少し売上が減少している。

(新ひだか町商工会)

旅館関連の事業者は、会食の予約状況は好調だったものの7月上旬からの急激な感染者増加のため、会食のキャンセルが相次いだ。宿泊の予約についてはそれほど影響は出なかった。洗濯関連の事業者は、個人客の利用状況についてはそれほど変わらなかったものの、コロナ感染者の急増の影響によりホテル関係の売上が低迷している。理・美容関連の事業者は、物価上昇のニュースを見ると今後の業界への影響を不安

(かづの商工会)

飲食店は、食料品の相次ぐ値上げに加えて包装資材も高騰、電気やガスなどの経費も値上げとなっており、商品の値上げも余儀ない状況だが、十分価格に転嫁できず苦しい。またコロナ感染者の爆発的な増加により、戻りかけた宴会需要もキャンセルが相次ぎ、仕入れ価格高騰とも相まって今後の状況が不透明。

(佐久市望月商工会)

旅館・宿泊所は、県民割があり予約が増え、売上増を期待していた矢先、第7波の影響でキャンセルが相次ぎ、悪い方向に向かっている。理美容業も、コロナの影響で顧客のサイクルが長期化していたところ、更に第7波の影響で長期化してきた。顧客の高齢化率も進み、来店が困難になってきた。若い世代は、経済状況の悪化から安い店舗への流出も増えている。サービス業全体として、資金繰りも悪化してきている状況である。

(高山北商工会)

エステサロンなどの店舗については、新型コロナウイルス感染症の影響をものに受け、廃業を余儀なくされた事業所もあった。

(武豊町商工会)

・旅館関連の事業者は宿泊費助成のキャンペーン等により、県内、近隣県の観光客を中心に少しずつ回復しつつあったが、第7波でキャンセルが出ている。洗濯関連の事業者は、円安や燃料費の高騰により、洗剤等消耗品費、光熱費、配送経費が上昇。価格転嫁できていない状況も見られ、収益を圧迫している。理・美容関連の事業者は、前年同期はコロナが拡大した時期だが、前年と比べ地域の行事、イベントなどに再開の兆しが見られる。他方、仕入(美容品)や電気代等光熱費が軒並み値上げとなり、経営を逼迫している。

(北栄町商工会)

・旅館宿泊業については、週末は満室になるなど回復傾向にある。しかし、コロナで2年間売上は低迷しており、資金繰りは厳しい状態が続いている。新型コロナ感染拡大による度重なる緊急事態宣言の発令等で予約をキャンセルされるなど売上は波があるため、従業員の雇用もできずにいる。コロナ禍のニーズに対応した施設改修を目論む事業所もあるが、自己資金での対応は難しく、いずれにしても補助金を活用しないと対応できない事業所ばかりである。

(唐津上場商工会 経営支援センター)

・宿泊業は夏休みでの宿泊者数増加とコロナの影響による宿泊者減少が相殺され、大きな変動はない。今後、行動制限等が実施される可能性もあるため、先行きは不透明である。飲食店では、新型コロナウイルスの再拡大を受け、戻りつつあった客足が再び遠のいている。反面、仕出しやテイクアウト等を行っている事業者は、注文が増えている。ただし、実際に来店された方が、お酒等も提供でき、客単価が高くなるため、売上全体で見ると減少は避けられ

(諫早市商工会 西部支所)

・売上が回復しても原材料費の高騰の影響で利益が伸び悩んでる。原材料費の高騰を価格転嫁していかないと手元にお金が残らないが、値上げしすぎるとお客様が離れていくのではないかと不安になる。

(新富町商工会)

・飲食業は、コロナ前水準の9割まで戻っている事業者も多かったが、第7波の影響で予約キャンセルも増加している。宿泊業も夏休みにはいり予約も多かったが、感染拡大の影響により、新たな予約がストップし、キャンセルも出て

(鶴の町商工会 野田支所)